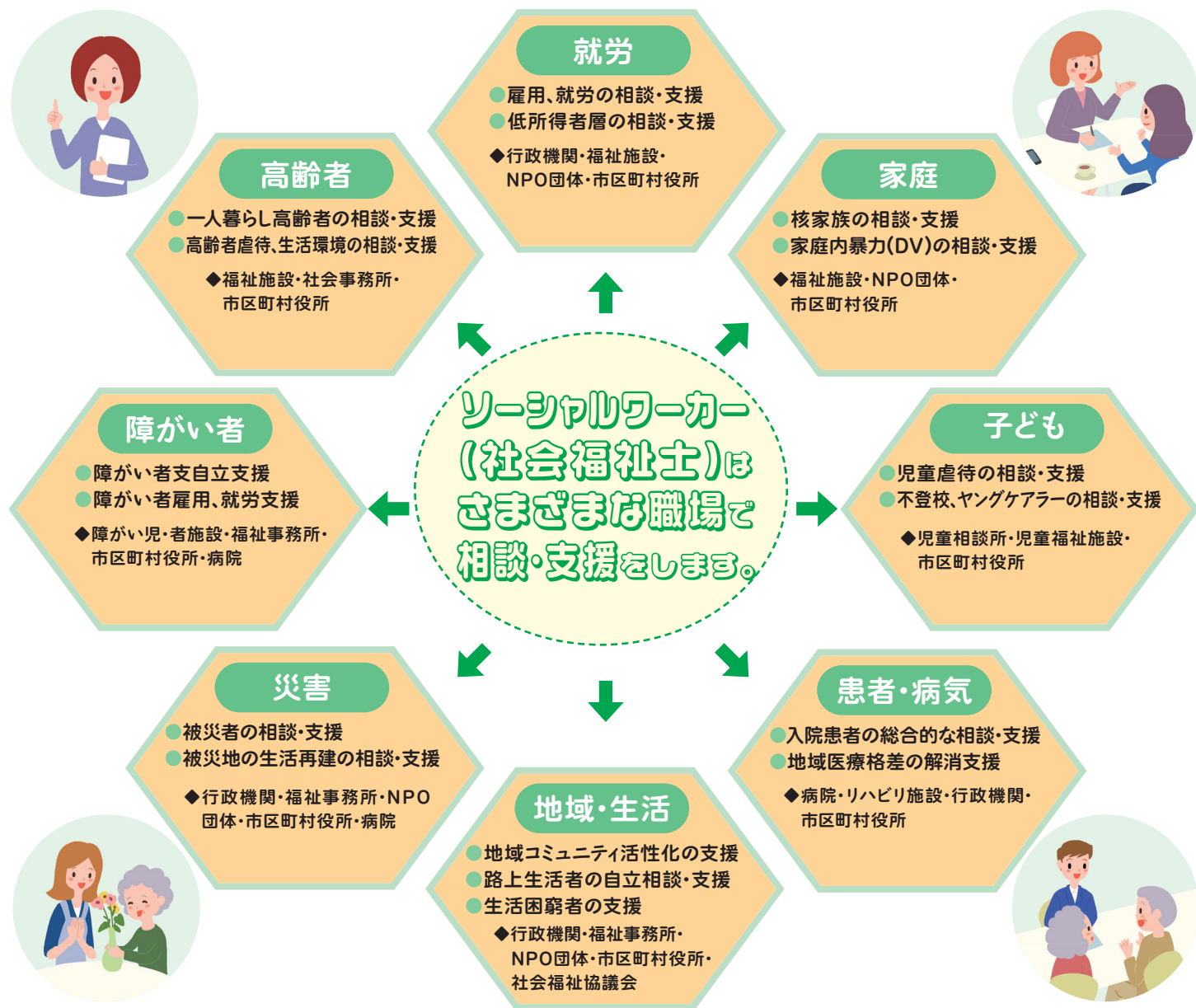




ソーシャルワーカー(社会福祉士)の仕事

ソーシャルワーカーは、さまざまな生活の困りごとを抱える人の相談に応じ、保健・医療・福祉、その他の関係機関と連携し、安心して日常生活を送れるよう支援する仕事です。「ソーシャルワーカー」とは、主に生活課題を抱える人々に対する理解を深め、生活の質の向上をめざして支援する専門職の呼称です。「社会福祉士」は、ソーシャルワークの専門職としての日本の国家資格です。



ソーシャルワーカーに関するQ&A

Q1 ソーシャルワーカーの仕事の魅力はどんなことですか？

病院で働く。福祉施設で働く。地域で働く…。ソーシャルワーカーの活躍の場はたくさんあります。たとえば、病院では、「医療ソーシャルワーカー」として患者さんやその家族を支援します。福祉施設では「相談員」「支援員」として利用者の就労や生活の支援を行います。学校では「スクールソーシャルワーカー」として相談援助を行います。このように、様々な生活の場で他者と一緒に、安全で、健康で、幸福な社会をめざすやりがいのある仕事です。

Q2 2年制の養成校で学ぶことのメリットは何ですか？

2年制の養成校で学ぶことのメリットは、早く実社会へ出られることです。ソーシャルワーカーは、実践の学問であり、社会でのさまざまな体験が、勉強の場となり、経験の積み重ねが、よりよいソーシャルワーカーへの育ちにつながります。※卒業後2年間の相談援助の実務経験で、社会福祉士国家資格の受験資格を得ることができます。

第35回 社会福祉士国家試験

受験者数10人以上の短大等53校のうち6位(「福祉系短大等+実務経験」ルート)

ソーシャルワーカーとして活躍する卒業生にも聞いてみました

刺激を受けながら仕事ができることが、やりがいにも繋がっています。



Q 現在どんな仕事をしていますか？

社会福祉協議会では、地域共生社会の構築をめざし、地区ごとの活動を支援する地域福祉事業のほか、生活困窮者自立相談支援事業やボランティアセンターの運営など地域の方々に向けた様々な事業を行っています。私が配属されている総務企画課では、主に経理を担当しており、職員の給与や保険、納税に関する事務などを行っています。

社会福祉協議会勤務
鈴木 千尋さん